広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷兼発行人 編集人 矢部藤三郎

山の手地区の水道布設

可決など

――七月臨時町会――

山の手地区簡易水道の布設については毎号若干ふれておしらせして参りましたが七月七日午後矢代田小学校体育館において、分担金の徴収条例案についての公聴会を開催いたしました。当日公述願いましたお方は

矢代田　金雄
高山三太郎、星田　清七、武沢　正吉
本多　清七、武沢　正吉
天ヶ沢　勉、海津樹太郎
平間　勉、海津樹太郎
今井長一郎、高野忠一郎
鎌倉　嘉助、相田　勇
斎藤　健吾、以上の方と

学識経験者として、江川美穂子、斎藤隼雄、保科要吉、長谷川義二さんより御意見を開陳していただきました。いずれの御意見も要は衛生的な水をふんだんに、そして上水道なみの料金ということにつきると思いますが、一日も早く地域住民の要望に応えるべく、七月十日臨時議会を開催の上付託しておりました山の手地区簡易水道布設関係議案と予算を一括可決いたしました。この簡易水道の規模は、今後十年間に増加する人口目標を（三、五一〇人）とし一人一日の使用量を百ℓ（約五斗五升）一番多量にそして同時刻に使用する使用量を一人三百ℓと計算し設計されてあります。配水本管の総延長は一五、二一一米で百五十粍から三十粍のものが隅々にまで配管され、各家庭はその本管から分岐して給水を受ける事になります。この工事は指名競争入札で行なうことも同日の議会で決定いたしました。

この外、交通安全県を宣言して一年、本町より交通事故を無くしようと交通安全対策協議会が設けられました。それが運営費として、十万円の補助をする予算案など三件その他議案二件を原案通り可決閉会いたしました

小須戸町 交通安全協会の発足

最近の著しい交通量とそれに伴なう交通事故を無くする目的を持って小須戸町交通安全対策協議会が六月二十九日に発足した。

組織及び協議事項は次の通りである。歩く人も自動車等に乗る人もみんなで正しい交通で事故の起きないよう充分注意をしたいものである。

組織
会長　村山吉五郎
副会長　白井　門蔵
〃　中村　亀一
委員　（新津警察署長）
各種団体長三十六名

協議事項
1. 交通安全教育及び交通道徳に関すること
2. 道路改善に関すること
3. 交通安全施設の整備に関すること（標識等）
4. 交通上障害を及ぼす物品並に工作物等の撤去勧告等、道路環境の整備に関すること
5. 道路占用並に道路使用の適正及合理化に関すること
6. 道路工事の促進に関すること
7. 交通関係行事に関すること
8. 交通安全PRに関すること
9. その他交通全般に関すること

また県の交通安全対策協議会長より県の交通モニターに高津英五郎氏が委嘱された

〃交通の三悪
無免許
スピード違反
飲酒運転〃

農業委員 改選される

去る七月十五日農業委員の選挙が執行されましたが立候補者が定数十六名で定数通りであり投票を行なわず当選と決定しましたのでお知らせします。

海津　平一郎　会長
海津樹太郎　会長代理
丸山　武雄、田沢　豊一
池田　清八、高野佐次郎
横山　昇平、川瀬　庄市
轡田　治作、保科　徳松
打合七二部、大橋　一郎
吉沢　松吉、渡辺　作治
水沢碧之八、簑和耕四郎
学識経験者
保科　清作、佐藤八十八
農業協同組合長
丸山清三郎
農業共済組合長
吉井喜代太

緑十字栄誉章 安全運転栄誉章に輝く 森田秀司氏

昨年は全日本交通安全協会より緑十字栄誉章を受賞し、今回また交通安全県宣言一周年記念日に当たり、県知事より安全運転栄誉章を重ねて受賞いたしました。正に『至上最高』と言うより外、感激を表わす言葉がありません。

この栄誉は私個人のものでなく、皆様のあたたかい御支援御協力があればこそ花咲き実結ぶ結果であって心から町民の皆様に御礼を申し上げます

この感銘を心の道標として走り続けたい。三十四年間の長い行程における、さまざまな体験を反省すると共に正しい遵法精神を新たに心に刻みつけ、走る兇器の酷評を返上したいと思います。と受賞の喜びを森田秀司氏は語る。

父兄と子どもの学習グループを

――夏休みを有効に――

子どもたちが首を長くして待っていた夏休みもやってきた。

先生の手から離れた子どものために父兄が先生代りになっていくということが必要で、学童を持つ隣り近所の父兄たちが集まって「父兄と子の学習グループ」といったものを作るのも一つの案ではなかろうか。

大体父兄対子どもではどうしても父兄が子どもの我儘にまけてしまう。そういう時数人の子どもがグループで父兄たちの監督のもとに勉強するということになったら子どもの心理というものは妙なもので一人でなかなか宿題をやりたがらない子どもも進んで勉強するのではなかろうか。

こうなったら毎年夏休みを迎える毎に聞く父兄の歎きもなくなろう。子どもが毎日規則正しく勉強してくれて宿題帳も夏休みの終わりまでにキチンと出来上がっていると

いうことになったら少々おやつ代や家事整理の時間がつぶれるくらいなんでもないことではなかろうか。

ところで夏休みを送らせるやり方は十年一日のごとくサッパリ進歩も新工夫もないようだが、一つこの「父兄と子の学習グループ」といったアイデアを採用するといったことは出来ないものであろうか。毎年夏休みがくる毎に父兄の苦情に鑑みて一つ提案申し上げたわけだが。また夏休みの勉強は宿題帳と学科の勉強ばかりにつきるものではないと思う。

早ね早おき、家事の手伝い、地域への奉仕、社会道徳といったシツケを身につけさせることも夏休みが最も良い一つの機会である。昔から早起きは三文の得があるといって人間の徳の一つになっているが、暑いさかりの夏の早起きは誰でも気分がよいものでダラダラしているのは体にもよくないことである。

しかし早起きして騒いでいるだけではなにもならないことで、この早起きを利用してラジオ体操をやらせるとか勉強会を開かせるとか、あるいはまた時どき地域の奉仕にたとえば道路の清掃をやらせるといったことは極めてよいシツケになるのである。

ある部落の子ども会では毎週一回必ず部落の神社や墓地の清掃奉仕を行ない、これがすでに二十年近くもつづけられているという、折柄お盆も近づいてくる。部落や町内にお寺のあるところでは子どもたちに早起きをさせ、お寺の境内を清掃させることなど最もよいことであろう。寺や檀家の人びとも喜ぼうし、それよりも子どもたちが先祖を大切にするといったことで無言の大きな教育になりはしまいか。

神社の清掃でも道路の清掃でもよい。多くの人にも喜ばれる。いつの世でも「清掃」という仕事は自他共に人の心を清くする効果がある。

近年は子どもたちが学校で子ども議会というものを開いて夏休みの過ごし方などについて自主的に申合わせなどしているようだがそれも至極良いことであるが、子どもたちの思いつく範囲は決まっている、やっぱり先生や大人の目から見た助言や注意も大切である。

何れにせよ夏休みは楽しく有意義にしかもなんの事故もなく子どもたちをおくらせるようにしたいものである。

矢代田　壺屋徳一

学校のミルク給食が実施されます

小須戸町の三ケ校にミルク給食実施に要する予算が六月町議会において議決されたので目下学校では来る九月一日からの実施を目途にしてその準備が進められています。

これは今年度全国の義務教育学校すべてにミルク給食を実施するという国の計画にそったもので児童生徒の体位向上のためまことによろこばしいことと存じます。そこでこれが実施に当ってはPTAの皆さんをはじめ町民の方々の深い御理解と御協力が望まれております。その第一はこの度のミルク給食は近い将来の完全給食実施の足がかりであるということであります。つまり学校給食はパンとミルクとおかずの三つが揃ってはじめて完全な給食というのであってそうなってこそ学校給食の目的が完全に果たされるのであります。しかしこの度実施しようとするミルクだけでも大きな効果のあることは皆さんすでに御存知のことと思いますが、それはミルクには日本人の食生活に一番不足している動物性蛋白質が多量に含まれておるということであります。それだからこれを毎日飲用することによっていちぢるしく身長の増加を来たしまた脳の働きを活発にするのであります。それでさらにミルクではとうてい足らない栄養分はパンとおかずも揃えたいわゆる完全給食によって補給することにならねばいけないのであります。この点十分の御理解をいただき、これが早期実現に御協力をお願いいたします。

また県の交通安全対策協議会長より県の交通モニターに高津英五郎氏が委嘱された

〃交通の三悪
無免許
スピード違反
飲酒運転〃

第二にミルクは前述したように国の方針によって給食するものだから市町村の学校でこれを実施する場合国はいろいろの補助をいたしますので極めてやすい値段で飲ませることができますし、二重釜とか攪拌機等の設備に要する経費に対しても補助金がつきます。しかしいざ実施するという段になりますとまず給食実施のためにいやしくも集団赤痢の発生等のことが断じてないように清潔第一にやらなければならないし、できる限りよい設備にするために予期しなかった経費もでて来たり、さらにミルクは脱脂粉乳を用いるので普通の牛乳にくらべて脂肪分とビタミンAが不足していますから良質の脂肪とビタミン剤を添加してやる必要があります。これ等のためにもちろん町でも予算措置はいたしましたが受益者である保護者の皆さん方からも幾分の経費を負担していただかなければなりませんのでこのことに関してはPTAの組織を通じて後日具体的にお願いすることになりましょうが何分ともよろしくお願いいたします。

第三にミルク給食に用いるミルクは普通の牛乳よりも甘味も少ないし、いわゆるミルク特有のにおいがありますので、子供さん方の中にはごく少数のことだと思いますが、これをきらいのものもあることが予想されます。このような子供に対しては学校でも先生方がよく指導をいたしますが御家庭でもよろしくお願いいたします。もっともはじめはきらいでもがまんして飲み慣れますと、砂糖などの甘味を加えない方がかえってミルク特有の味と香がたまらなく好きになるということであります。

ガス井戸税が廃止になりました

県では昭和二十二年からガス井戸税を課税してまいりましたが、この税は税額が、れい細なうえに、課税に非常に手数がかゝり、租税徴収の趣旨に合致しなくなりましたので、今年四月一日から廃止になりました。

なお昭和三十八年四月一日以前に課税されましたは課税されるべきであったものに対しては、従来どおり納めていたゞくことになっています。

道路交通制限について

期間　自7月10日　至9月5日
区間　旧村祐建設事務所より第二保育園まで

県道三条新津線（矢代田地区内）は補装道路新設のため、左記期間諸車、片側通行並に除行となりましたのでお知らせ致します。充分御注意願います

期待される 体育指導委員の活動

スポーツ振興法にもとづいて、小須戸町に昨年から次の人達が体育指導委員に任命されておりますが何しろ新しい制度によることでもあり、いわゆるPRも足らなかったこと等によって町民の皆さんに親しまれるというところまでは至らず、おそらくそんな委員があるのかとはじめて耳にされる人も多いのじゃないかと思います。

この度この委員の担当地域および分担するスポーツの種目がきめられ、積極的に活躍していただくことになりました。また体育指導委員の任務の概要は次の通りですので、各種団体、会社、工場、事業所等におけるスポーツ活動にこの委員の人達を十分御利用いただき、小須戸町のスポーツ界が一層活発になり、健康にして明朗な町づくりができることを期待したいものであります。

1. 町民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行なうこと
2. 学校、公民館、各種団体等の行なうスポーツの行事または事業に関し協力すること
3. 住民一般に対しスポーツについての理解を深めること
4. 住民のスポーツ活動促進のための組織の育成を図ること

左の表は各指導委員の主として担当していただく地域とスポーツ種目を定めたのでありますから、これにこだわらずに、この人達を利用してもらいたいものであります。たとえば山の手の人が登山について能登長利さんに相談したり指導していただくとか、新保横水の人が卓球について谷悦子さんから指導を受けるとか石田洋一さんは陸上競技は担当でないが何かと陸上競技のことについて聞いてみるとかといった具合にしていただくことを歓迎いたします。これ等の委員達は自分でわからないことや、また自分が都合のつかない日時等のあった場合は何等かの方法で町民の方々の御便宜をはかってくださるはずでございます。

指導委員氏名	住所	担当地域	担当スポーツ	備考
五阿達昭	横町	全町	野球、庭球	小須戸小勤務
石田洋一	新津	全町	排球、籠球	小須戸中勤務
能登長利	うでこき	町部	登山、羽球 軽スポーツ	
平間福治	天ヶ沢	山の手	陸上競技	
高野藤一	横川	新保 横水	剣道、柔道	農協勤務
谷悦子	一ノ町	町部	卓球、舞踊	役場勤務

街灯をいつも明るく

小須戸町で街路灯は何個付いているかおわかりでしょうか。

町が維持する防犯灯及び街路灯は三十三個付いているので、この年間の維持費が約一五千円位になっているのです。この維持費の内電球の取替代がほとんどなのです。心ない人によって電球が外されたり、割られたりしているのです。

そんな事で三十三個の内常に付いているのは二十個余で本来の街路灯の生命をはたしていないと言った方がよいのではないかと思うのです。

三十三個の街路灯が常に光を出していられるようにみんなでかわいがって行くよう御協力をお願いします。

街灯場所	数
矢代田駅前	7
矢代田一新保	12
中学校通	6
小須戸橋投光器	2
防犯灯	6
計	33

町長大いに語る

＝婦人会、町長をかこんで＝

七月十日午後八時より役場二階で、町婦人会主催で村山町長の町政を聞く座談会が開かれた。

主なる話題は次の通り

問　秋祭日短縮について

町長　戦後うつり変わりのはげしいこんにち昔のままの姿でいいか悪いか考えてみる点が多い。そうかといつて全く変えてしまうのもどうかと思われる。昔の名残りを止めておくこともまた大切かと思われる。例えば燈籠などは宮の前に飾っておくというふうに。交通安全県宣言までしているこんにちでもあるので、神輿なども問題の一つと思う。

全町が楽しめる特殊な行事を考えてみたらどうか。長い間行なって来た祭りのことでもあるので連絡員や町議などの意見も聞いて慎重に考え、お祭りまでにきめたいと思う。

問　力、ハエの駆除について

町長　町会で動力噴霧器を買う承認は得ている。時期的におそいが設備が整ったらお手伝いねがいたい。

問　青少年の不良化防止について

町長　今まで町会に問題となって出ていなかったが、ころばぬ先の杖として大切なことだと思うし夜警などの要望があれば連絡員の賛同を得て善処したい。

問　矢代田駅の改名について

町長　今山の手の水道問題は公聴会でも決定したし、それと同時に小須戸の上水道も拡張したいし火葬場、塵芥その他早くしまつしなければならぬ問題に直面しているので期間をおいて考えてみたいと思う。

問　町営ガス施設について

町長　白根と小須戸と一緒に今調査中で全町にゆきわたるようにと計画している。白根同様な行き方で努力中。ガス引き込みを文書で資源会社へ提出もしてある。近く着工の見込みでいる。

問　保育園について

町長　入園できる年令に達したら、全員はいれるようにしたい。中学校三教室は四〇四万円の補助に決定したし、一五〇台入れる自転車小屋も承認を得た。ゆくゆくは中学校舎は鉄筋コンクリートにし鉄骨で大体の上水道も拡張したいし育館を造りたい。残りの材料や、中学校の危険校舎を利用して、保育園は一か所にまとめたい。保育園が六つもあっては経費もかかるし、それより大切なことは、人間形成の一番大事な時期に子どもに格差をつけてはいけないということである。園児はスクールバスふうに送り迎えする。矢代田は独立したものを造りたい。冬が心配といわれるが、ブルトーザの購入の承認も得ているから心配ないと思う。

問　県立小須戸病院について

町長　病院の赤字はあたりまえのことで、どこもそうである。病院の設置されているところが一番恩恵をうけているのだから大いにPRにつとめたい。

戸石、田上、庄瀬橋のたもとというふうに十か所ぐらいに標柱を立てることにきめていただいた。

病院には消毒設備としての機械がないので県と話合ってそなえて貰うことにしてある。

表から見れば体裁がいいが周囲は草ぼうぼう、川原の下り口はゴミと汚水で実に対照的とのことであるが、こんなふうに考えている。西幸町はどこかに移っていただいてそこを患者のいこいの場所として花壇にでもしてできるだけ環境を良くしていきたい。

問　小須戸橋について

町長　年内に完成の予定である。ウデコキにかかる橋は白根、新津からも国庫補助を出していただいてコンクリーの橋にする。早く位置をきめて貰いたいと思っている。

梅ノ木の県道を拡充して、小須戸より直通バスが通るようにと、梅ノ木方面から町へ陳情にこられた。小須戸橋ができるまでにバスが通るようにしたいと考えている。

問　役場庁舎について

町長　どことも一緒になってもよいような格好に造りたい。よその町は特殊産業に依存しているがこの町はこれという特産がないため、自力自営にやっているので一人ひとりの力は大きい。貧乏だという自己暗示にかからぬ方がよいと思う。

学校、保育所、道路、橋その外みんな中途半端で、どれも一緒にというわけにもいかぬので一つひとつかたづけていきたいと思う。

このような話が交わされた。

婦人でなければ気づかぬいろいろな点を指摘していただき大変うれしく思った。今後一層のご支援をおねがいしたいと結ばれ会は終わった。

婦人会の第一回目のこころみで、誰も彼も発言したというようなことではなかったが、和服姿でくつろがれた町長さんに会合のなごやかさが感じられ、質問者もいと気軽に話すさまが、次の座談会が待ち遠しいようなふんいきだった。

水の味

早目に訪れた今年の梅雨は七月も半ばを過ぎていまだに去りやらず、昨日も今日も梅雨にぬれては増す緑の草木は色も濃く、うっとうしいうちに清々しく見え、コーヒーも、紅茶もこれから夏に向つて冷たいのが好まれます。

麦湯も冷やして客に出すから番茶も冷やして飲めばと思うが、これは水が濁ってくさくなるので飲めたものではありません。

〃玉露の氷点〃というのはうまい。少し大き目な急須に玉露を、ちゃみにたっぷり三杯ほど入れて冷蔵庫にできるサイコロ氷なら、五、六個入れて少し時間が掛かるがポタポタと茶碗についでロにふくんだとき、香気と色と甘美がとけ合って玉のようで舌の上で、す――っとひろがるうまさは夏の飲み物としてすばらしい。

一日増しに暑くなるとつい水を飲み過ぎて身体をこわすことさえあるが水も味わって上手に飲めば、長命を得ると言い、昔から寒の水を飲むと丈夫になると言います。

子どもの頃まだ水道のない時代に母は、信濃川の水を汲んできて飲ましてくれたが、今は苦労せずに水道で飲めますが、水の味は寒中が一番おいしいと思います。

平安の昔、天子のお飲みになる〃柳の水〃は水守の朝鳥という人が、その道の水を飲むに越したことはありません。

茶もよし、コーヒーもよし、酒はもちろんよろしいが、コーヒー一杯と共に生水一杯、酒のあとにも同量に近い水を飲むことは、健康のために是非心掛けた方がよいと思います。

酒の味を知る者は真に水の味がわかります。酒の味を知らなくとも茶を心掛ける人びとは水の味はことさら知っております。

朝鳥は笛の名人でありました。月の夜はいつも妙なる笛の音を柳の井戸に捧げるのを楽しみにしていたと平家物語に出ております。

さて水は地下深くわきでる水が一番うまいが、身近に求めることができません。水道の水はなにか味気ない思いがしますけれど健康のためには水はそれは大切にお守をしておりました。

無量壽経に「八功徳水漠然盈満、清浄香潔、味如甘露」とあります。

いわゆる八つ功徳とは一に澄浄、二、清冷三、甘美、四、軽軟五、潤決六、安和七、除患八には増益であります。

いい換えると、水というものは澄んでいて、つめたくて、甘みがあつて舌ざわりが柔らかく（硬水は不可）こくがあってふくみのあるのがよいということであります。

地下から湧き出た水！これこそ生きた水であるが時が経つと死んでしまう。速やかに生きのいいうちに飲むことです。

茶の先覚者が午後の水をいましめたのはこのことであります。

池から湧き出た水は、夏は快い程つめたく、冬はほのかに温みをもって四季それぞれに味が違います。

春の水はたしかに生気があり、朝起き目に一杯飲む水には、今日もまた今日の生をうけたことの幸いを感じ一口ひとくち舌つづみをうちたいようです。

夏は口がかわくために飲むから、舌で味わうよりものどでゴクゴク味わうことになる。

秋は白玉の歯にしみとおるというから歯に味わうことになる、そして冬はつめたすぎて遠ざけられがちであるが、水のほうんとうの味は冬にあります。

冬の水には「生気」以上の「霊気」があって「水」が水以上の薬であります。春は舌で、夏はのどで、秋は歯で、というのに対して、いうならば冬の水は「胃」で味わうのであります。

食道を通って胃の中に落ち着く時のその気持はなんともいえない。ことに季節が「寒」に入ってから真に水の霊気が感じられ、昔の人は寒の水を毎朝一杯ずつ飲めと教えられたのであります。

漢書の中の孟子に、徐子曰「仲尼しばしば水を称して、水なるかな、水なるかなとのたまえり、何をか水に取りたまうや」孟子曰「源泉は混こんとして昼夜おかず、くぼみをみたして後に進み四海にいたる」とあります。

功績とか業績は一朝一夕にでき上がるものではなく、努力してこそ自然とあらわれ出るのであります。

武田玄峰

小須戸橋の竣工目前

昭和三十五年七月三日に起工式を行ない四年目の本年十二月末日には竣工するはこびとなった。今の工程については次のようになっております。

総工費　一三五、七七六千円

工事内容

橋桁工事　四橋足目までは九月末日までに竣工

補装工事

橋桁上の補装工事は十一月中旬までに竣工

取付道路工事

白根側の取付道路は十二月中旬までに竣工

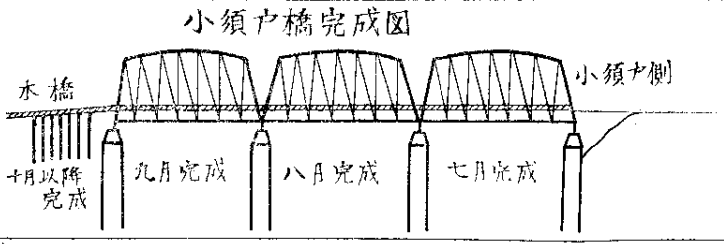
塗装工事等

橋桁等の塗装等も十二月中に竣工

塗装工事等

橋桁等の塗装等も十二月中に竣工その他雑工事も一切を十二月に終わり小須戸橋の渡初めの出来るのは十二月下旬に出来る予定とのことであります。

完成は上の図のような見事なもので、あらゆる面で大きなプラスになるでしょう。



子どもを守ろう

第一保育園より中学校に通じる農道は今通学道路になっています。

自動車は神社の境内を通ることのできない規則になっていますが、ときどき諏訪神社を横切って生徒の歩いているせまい道を突走っていますが、生徒にとりかえしのできぬ事故でもおこしたらお互いに大変困ることと思いますので、自転車以外の車はご遠慮おねがいいたします。特に小さな子供は、いくら口でいっても、夢中になってると、思わぬ方へうごくことがありますので、くれぐれも注意をおねがいします。

ごぞんじでしょうか

かとりせんこうは、ちょっと消しにくいものですが、アルミニウムのせんたくばさみではさんでおくと、いつのまにかきえるものです。これですと、消したいと思うところでけすことができて便利です。

山女魚を追って

（つりの研究）

光に未熟なヤマメ釣りの記事を紹介しましたら大分関心を持った問合わせをあちこちから受けましたし再度ヤマメに関する送稿の依頼を調子に乗って安請合いしてしまいましたので、とりとめもなくまた、ヤマメ放談をいたします。

今年の大雪にはさすがのヤマメも参ったかと思い、三月初旬のまだ胸近くまで埋まる雪を分けて天ケ沢の山から御社川へ出漁しました。ところが案に相違して丸まるふとったヤマメが吹雪に埋った淵から赤い斑点も鮮やかに、ブドー虫に跳びついてきたときの感動は今更の如く、この魚の生命力の強さを思い知らされた。

陽春より初夏にかけて渓も美しく、ヤマメも最も美しい跳躍を見せてくれますが、日を追って難しくなりますし、その釣り方、仕掛等を説明しても鮎や鮎のように必ず釣れるというきめ手がなく、また偶然に大漁ということもありません。

一にも二にも釣技の上手下手によって、果のあらわれる厄介な釣であり最初の何回かアブレながら通うか、通わんかがこのヤマメ釣の狂になるならんの分かれ目にもなります。

それだけに体を低くし息を詰めて、泡立つ流れを見守るうちに目じるしがちょっと動いた途端の動悸と、手元に跳り込んだ豊艶な最初のヤマメの姿を見たときの感激はたかが魚と思いながらも、いつの間にかこの釣のマニヤになってしまいます。そして間もなく只見川系がいいの、志賀高原にもう一度行きたいのと家族泣かせの計画を考えるようにもなります。

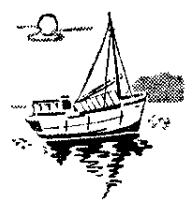
このヤマメ釣りは、我流が到底できないだけにできればよき先輩についてその後からコツをのみ込むのが上達の近道であり先輩もいいところを見せるつもりで先行して釣果を自慢するよりも、後輩に釣場を譲ってその釣果を喜ぶ見識が必要かと思います。

近時釣人口の激増により一人静かに豊漁を楽しむ渓が少なくなりました。しかし五万分の一の地図を眺め、人に知られぬ秘境の沢を尋ね当てるのもヤマメ釣の釣技の一つでありますし、県下で著名な魚野川、阿賀川系の大釣場は別にして、小須戸周辺のやゝ大釣場なら加茂川高柳のたおやぎ橋前後、五十嵐川荒沢たなびれ附近、早出川川門の下あやだせ部落附近なら大体いつでも楽しめるのではないかと思います。

春にうぐいすの声をきき、夏は涼風に吹かれて竿を振る渓流の釣の楽しさは、釣という同じ趣味を持つ人に一人でも多くの同好者を得てその喜びを分かちたいと思っています。

（森田吉之助）

購入図書



◇ジュミの冒険遊行　ロバート
◇天与の花を咲かす喜び　武者小路実篤
◇火の胸　源氏鶏太
◇つり竿のえらび方と扱い方　編　池田書店
◇暮しのもの知り百科　編　毎日新聞学芸部
◇西遊記　八巻　邱永漢
◇花笠浪太郎　山手樹一郎
◇ファブル昆虫記　Ⅱ Ⅲ　訳　平岡昇
◇性格、素質とのたたかい　相場　均
◇整理学　忙しさからの解放　加藤秀俊
◇女の見たソ連　原田佐久
◇日本女性史　中谷孝雄
◇双児の同級生　ザャーデイン
◇悲しみは空の彼方に　フアニーハースト
◇ベンフレンド　R　マッカウン
◇ロマンス留学　アン　ユマリナ
◇わが小説　編　朝日新聞学芸部
◇東京一淋しい男　源氏鶏太
◇ローラ　ロイナ　ファー
◇官官　三田村泰助
◇球形の荒野　松本清張
◇初恋よ、さようなら　アン　ユマリナ
◇真田騒動　池波正太郎
◇風流旗本笠　村上元三
◇捜査一課　西川武男
◇新書太閤記　巻五　吉川英治

日傘句会

小須戸町俳句同好会

にじみ出る肥料臭や梅雨長し　香月
薬液の泡盛りあがる雲の峯　小滝
庭石のあきることなし夕端居　ひさ
桃出荷梱包の手に力あり　水月
火とり虫泰然として主人酔う　杏水
外孫も内孫も殖え菖蒲太刀　喜雨
街に入る迄は蔭なし娘の日傘　竜朗
青簾特に日立ちて医師の家　一陽
大寺院重く閉ざされ梅雨曇り　芳人
誰も居ぬブランコ揺れて涼しけれ　山葵
土用近き市やトマトの値も崩れ　紫川
舟待てば音たてゝ咲く月見草　流水